

とびだせカルガリー

石川比奈子, カルガリー大学

今回、第一回 CAJLE オンライン共有会に参加させていただいて、改めて強く思ったことがあります。結論から言ってしまうと、「つながりの強弱に関係なく、情報シェアをしていく勇気の大切さ」です。

恥ずかしながら、私は今まで、教案にしても授業アイデアにしても、「情報収集」側で、あまり「提供する」側ではありませんでした。別に情報を出し惜しみしていたわけではなく、ただシェアする機会があまりなく、そうする動機も特に見つからなかったのです。たとえシェアする機会があってもそれは同僚の先生だったり、知っている先生方ばかりでした。

そんなとき、3月に Covid-19 のため、大学の授業が全部オンラインに移行することになりました。周りにオンライン授業の達人なんていません。「オンライン授業なんてどうやってするの？」とパニック。そのような状況では、全くつながりのない色々な方から情報をもらうしかなく、私はそのために Twitter をはじめました。そこで得た情報は、あまりにも貴重でありがたいものでした。その経験を経て、もしや、私の経験や情報だって誰かの役に立つのかもしれないと思うようになりました。恩返しではないですが、「私もシェアしなきゃ」という思いが芽生えて、今回の共有会に参加しました。

私たちのセッションでは、ブレイクアウトルームを作り、参加者の方に各々のプロジェクトのシェアをお願いしました。すると、短い時間だったにも関わらず、みなさんそれぞれのプロジェクトを惜しみなく紹介してくださったのです。お互い知っていた方もいらっしやると思いますが、初めましての人も多かったのに、なんて太っ腹なんでしょう。集まったプロジェクトは全部でなんと66個。詳細まではわかりませんが、キーワードを拾うだけでも今後自分でプロジェクトを考える時には絶対にヒントになるはずです。正直、「シェアしたくない」とか「シェアするものがない」という声も多いかんと思っていました。

これを読んでくださっている方も、つながりの強弱に関係なく情報シェアをしていく勇気を出してみませんか。「私の意見なんて役に立たない」とか「大したことないから恥ずかしい」とか、そんな風に思う必要はないと思います。誰かが誰かの意見を聞いて、リフレクトし、それぞれが、自分のものにしていけばいいと思います。そうやってシェアしていくことで、この共有会のように、貴重な情報がもらえることもあるんです。私の「とびだせカルガリープロジェクト」(初級前半対象)もどこかで誰かの役に立っていると嬉しいです。そしてよろしければ、Twitter([@ishikawa_u_of_c](https://twitter.com/ishikawa_u_of_c))のDMにコメントなどいただくと嬉しいです。そうすると、「またシェアしようかな」という勇気が出ますから。